

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	一般事務	1次評価のみ対象分
コード	名称		区分	コード	
事業名	906	教育教材充実事業	会計	01	一般会計
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費
施策	11	教育環境の整備	項	01	教育総務費
			目	03	義務教育振興費
			細目	104	教育教材費
			細々目	01	教育教材費
基本計画該当頁	128	担当部課	コード	450300	評価者氏名
行革大綱の重点事項番号		名称		学校教育課	加納圭子
					連絡先
					22 - 9677 (内線) 3821

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	小中学校児童生徒 (対象件数 8007人)	充実した学習を進めることができる。
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
本年度事業内容	1. 学校人権・同和教育教材や外国人児童生徒の日本語指導教材の充実 2. 教材用パソコンソフトの充実	状況変化等

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	() 人
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
情報教育教材整備校数	校	目標 38 実績 38	目標 38 実績 38	37	37
外国人日本語指導教材整備校数	校	目標 3 実績 3	目標 3 実績 3	3	3
人権同和教育教材整備校数	校	目標 38 実績 38	目標 38 実績 38	37	37
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
			目標 実績	目標 実績		
			目標 実績	目標 実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性		
有効性		
達成度	4	計画どおり整備されている。
効率性	4	各校で活用された教材が、実践交流をすることで共有されている。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
	現状維持	パソコンの台数に応じた教材ソフトを取得するには経費がかかるので、配信コンテンツ(使用料を支払うことで多様な教材ソフトが活用できる)の利用を促進し、経費の節減を図っていく。

年度	進捗状況	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)
委託	↔	同和教育教材費	38校	1,463	同和教育教材費	38校	1,332	同和教育教材費	37校	1,253	同和教育教材費	37校	1,253
		外国人子女教材費	3校	90	外国人子女教材費	3校	81	外国人子女教材費	3校	77	外国人子女教材費	3校	77
工事	↔	教材用パソコン購入費	38校	3,261	教材用パソコン購入費	38校	2,985	教材用パソコン購入費	37校	2,405	教材用パソコン購入費	37校	2,405
		配信コンテンツ使用料			配信コンテンツ使用料	8校	567	配信コンテンツ使用料	37校	925	配信コンテンツ使用料	37校	925
進捗率(%)		事業費計(A)		4,814	事業費計(A)		4,965	事業費計(A)		4,660	事業費計(A)		4,660
事業投入人員		人件費(B)	0.2人	1,440	人件費(B)	0.2人	1,440	人件費(B)	0.2人	1,440	人件費(B)	0.2人	1,440
フルコスト(A)+(B)				6,254			6,405			6,100		6,100	

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	4,814	4,965	4,660	4,660
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	4,814	4,965	4,660	4,660
	計	4,814	4,965	4,660	4,660
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				